

第4回現地研修会を開催

——「北彩都あさひかわ」川のある駅と中心市街地活性化へのみち——

はじめに

道北技術士協議会では、去る7月に第4回現地研修会を開催しましたので、その概要について報告します。

1. 研修日程および概要

研修には、旭川市、札幌市、北空知、上川管内などから21名が参加しました。

- (1) 研修名称：道北技術士協議会 第4回現地研修会
- (2) 日時：2006年（H18）7月14日（金）11：00－15：30

(3) 場所および内容

- i) 講演および整備状況視察（旭川ターミナルホテル）

講師：旭川市駅周辺開発担当部長 後藤純児氏
（技術士：都市及び地方計画）

・まちづくり計画概要・JR旭川駅周辺鉄道高架事業・忠別川河川空間整備・駅舎デザイン・整備状況視察

- ii) 旭川市科学館「サイパル」（旭川市宮前通東）：シビックコア整備地区

講話：館長 佐々木恵一氏、副館長 片山裕之氏

・開館経過と施設概要・サイエンスシアター（3D映像）視察、常設展示視察・プラネタリウム視察

2. 「北彩都あさひかわ」の整備状況及び視察

「北彩都あさひかわ」は旭川市の計画事業として、国、道、JR北海道の協力のもと、1996年（H8）に都市計画を決定し、2014年（H26）を目標年とする一大まちづくりプロジェクトです。事業は、1998年（H10）から駅周辺土地区画整理事業、駅周辺鉄道高架事業、忠別川河川空間整備事業等が本格的にスタートしました。

他の事業としては、富良野方面からのアクセス道となる新神楽橋を含む大雪通整備事業、忠別川で分断された南北市街地の架け橋となる2箇所の新設橋梁整備事業（永隆橋通、昭和通）および旭川地方合同庁舎、科学館、市障害者福祉センター等の建物を核とするシビックコア地区整備事業などが含まれています。

特に、鉄道高架にともない新たに生まれ変わる旭川駅舎は、川のまちの顔として今よりも70mほど川側へ寄り、透明性デザインの駅舎構造により車窓から間近に緑や水辺を眺望できそうです。オープンには2010年（H22）秋が予定されています。また、広くなる駅前広場や中心市街地へは、川から緑の自然環境を引き込み、水辺に親しめるまちづくりを目指しています。



「50年先のまちのデザインを」（後藤部長）



日差しを受けて輪郭を現す整備地区（ホテル屋上から）

3. 旭川市科学館「サイパル」

シビックコア地区は、「北彩都あさひかわ」の東側にあたり、約10haの街区になっています。早期に着手された国の合同庁舎は、2004年（H16）秋に第一期工事分が完成し、現在、第二期工事分が進められています。

旭川市科学館は、従前の「旭川市青少年科学館（常盤公園）」を名称変更し、2005年（H17）に愛称「サイパル」として本地に移転・新築されました。

7月にちょうど開館1周年を迎え、62万人超の入場者を数える盛況ぶりとなっています。

視察は、夏休み前の平日でしたが、興味津々で体験学習する子供達の多さとグループで見学するお母さん達の姿にびっくりしました。また、ボランティア会員らしき案内説明員の充実ぶりにも驚かされ、今日世間で騒がれている理科離れ現象などは、ここに限ってはどこ吹く風の様子でした。



「展示室の色使いにも工夫が」（片山副館長）



科学館「サイパル」の前にて（撮影山本氏）

5. 参加者名簿

氏 名	所 属
鈴木 英利	深川市役所
鍛冶 鐵夫	(株)イズム・グリーン
藤島 義知	〃
加藤 昌宏	(株)富士建設コンサル
川村 恒	〃
喜多 勇雄	〃
山崎 芳樹	(株)北開測地
袴田 勝雄	(株)日興ジオテック
菅野 哲朗	(株)アサヒ建設コンサルタント
鈴木 孝善	〃
山本 敏夫	〃
寺西 輝芳	旭川測量設計(株)
大槻 正幸	(株)及川土木設計
里見 敏幸	(株)里見土木設計事務所
青野 直一	(株)ダイイチプランニング
遠藤 優	新谷建設(株)
谷藤 義十	〃
古田 唯夫	(株)ルーラルエンジニア
今野富太郎	〃
大川 慶悟	〃
菅原 敏明	〃

おわりに

人口減少時代を迎え、地方都市では、深刻な中心市街地の空洞化問題を克服し「コンパクトシティ」の実現と地域経済の活性化に取り組むことが求められています。研修は「まちづくり三法」の改正とも相まって、地域の特性が活かされ、高齢者と若者にとって魅力ある新しい時代のまちづくりや都市経営のトレンドについて理解を深めるよい機会になりました。

講演では、駅舎の初期のイメージスケッチや樹林に似せた柱構造のホームなども披露され、設計者の深い思いに「De-sign」の語源を噛みしめ、また、科学館では、ボランティアの説明に耳を傾けながら、「科学コミュニケーター」としての技術士活動にも思いを巡らすなど個人的にも貴重な時間を持つことができました。

最後になりましたが、8月の豪雨で被害を受けた地域の皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに会員各位の御健勝を祈念して本協議会の報告とします。

（文責：道北技術士協議会 会長 菅原 敏明）